

令和3年6月29日

学校法人三幸学園
福岡こども専門学校
校長 岩本 克也 殿

学校関係者評価委員会
委員長 橋本 聡美

学校関係者評価委員会実施報告

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 橋本 聡美 (社会福祉法人児遊会 かぼちゃ畑保育園 園長)
- ② 榎本 友里恵 (株式会社 JR 博多シティ文化事業部 文化事業課)
- ③ 高田 尚未 (社会福祉法人春陽会 中比恵ソレイユガーデン保育園(第5期卒業生))

2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和3年6月7日(会場 福岡こども専門学校 403教室)

3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

令和2年度 学校法人 三幸学園 福岡こども専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 本田 和寛

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 橋本 聡美

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、保育分野の学校として「こどもを育み、人・社会を活性化することで日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、保育分野として「皆から信頼・感謝されるこどもの未来を育む人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

・教育理念・目標の浸透

⇒保育の現場が求めている職業人像にそった学生指導

・グループウェアやAIを活用した情報共有等による業務の効率化をさらに推し進める。

⇒Sanko Gate を活用し学生への情報共有を強化していく。

・学外実習・インターシップやボランティア

⇒学校生活を通じてたくさんの生活体験を通じて自ら考え行動できる学生を養成してほしい

② 学校関係者評価委員会コメント

<橋本委員>

・コロナ禍であってもなるべく学生の学びの機会の為に実習を受け入れていきたい。万が一、実習期間中体調不良になった場合などの対応マニュアルを明確にしていきたい。

<榎本委員>

・学外実習やボランティアは、感染対策を行って実施ができています。今後も、双方に検温等行った上で実施をしていきたい。一方で、大人数でのイベントは軒並み中止になっているため人数を制限してボランティアは実施

<高田委員>

・在学中に実習や特にボランティアを通して自分自身成長することができた。オープンキャンパスのスタッフを通して考えて行動することができるようになったと感じている。今現場でその力を生かして保育リーダーを行っている

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

- ・教育理念・目標をオープンキャンパスや新入生説明会内で保護者に周知しているが、入学後の周知の機会が少ない。
- ・業界のニーズを踏まえた教育目標・育成人材像の設定

② 今後の改善方策

- ・学園独自の学習管理システム SankoGate や保護者文書などを通じて入学後も教育理念・目標を保護者へ発信していく仕組みを構築する
- ・保育園・施設訪問を積極的に行い現場の話を聞き、業界のニーズに合わせた目標設定を行う

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

<橋本委員>

本校の卒業生は、現場に出たときを考えて教育目標を立てられていることがわかる。保育に関しての基礎的な部分と、社会に出た時の基礎ができていると保育現場に出た際に困らない為、引き続き指導してほしい。

<榎本委員>

産学連携イベントの様子を拝見し、教育理念に沿った学生指導ができていると感じる。

打合せの際に目的をもって話をする姿は成長を見れて楽しいと感じている。

<橋本委員>

入園の際に保育理念の説明をする。保育室の見える場所に掲示して、保護者が閲覧できるようにしている。

基本的に園は保育理念で成り立っているので、行事等で理念を表現していけるようにしている。

<榎本委員>

社内でもどこまで情報開示をすべきか都度話し合いを設け、情報開示を行っている。

<高田委員>

教育理念は在学中に未来デザインプログラムの授業で紹介され馴染みがある。園に就職後、保護者の方と挨拶する機会が多く、挨拶などの礼儀がとても大切なことであることが実感できている。

技術面では実技授業等、実践的な授業が多く、就職後も子どもと関わる中ですぐに役立つ事ができている。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

- ・情報システム化を導入している、教職員が使いこなすまでに時間がかり業務の効率化が図られていない。

② 今後の改善方策

- ・情報システム化の浸透
- ・業務効率化にむけて導入するものと削減していくものすみ分け

③ 特記事項

- ・情報システム化を受けて、動画編集等のカリキュラム導入を検討

④ 学校関係者評価委員会コメント

<橋本委員>

- ・保護者との連絡ツールとして、プリントの配布・掲示に合わせて H29 からアプリを導入し発信している。

子どもの基本情報が自動で出るようになったので、手書きする手間が省け業務効率化に繋がった。回覧履歴も残るため保護者の状況も把握できる。システムを導入する際は研修等で時間を使ったが慣れると便利である。

<榎本委員>

- ・JR 博多シティのレジに iPad で「スマレジ」アプリを導入。収益もグラフ化され、出先でも売上状況が確認出来るなど業務効率化に繋がっている。システム導入にあたり、マニュアル作成などに時間を要したが、その後の効率化のことを考えると必要な時間である。

<高田委員>

- ・事務の方がシステムマニュアルを作成している。パソコンに得意な人が、動画編集等を行うなど業務分担ができています。就職後はワードとエクセルで「クラスだより」が作成できれば技術的には問題がない。今後、授業内で動画編集の授業があれば、現場で強みにはなると思う。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	3
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

・連動性をもった研修の実施

② 今後の改善方策

・研修実施後も引き続きフォローや振り返りを実施していきたい

③ 特記事項

- ・地域連携の一環として、地域のこどもたちへの遊びの提供、保護者への育児支援を実施。
- ・産学連携の一環として、JR 博多シティ様と提携して、継続的なボランティアを行っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

<橋本委員>

・研修後、研修報告書を提出し全員に回覧している。自己評価と園評価を年に2回実施。研修希内容も職員にヒアリングを行っている。学ぶ研修と実践の研修を職員が自発的に行っている。

<榎本委員>

・役職ごとに必須研修もあり、他分野での研修も希望を取って実施し研修後、報告書を提出する。

<高田委員>

・研修後、月1回の職員会議内で研修報告を口頭で行い、全員でメモを取り園全体で共有し合う。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・卒業生の離職状況の把握
- ・卒業後のサポートの強化
- ・卒業後の状況把握(離職状況等)

② 今後の改善方策

- ・定期的な卒業生就職先への訪問及び電話巡回
- ・資格取得状況の共有・資格対策の強化
- ・卒業生が就職している園・施設への訪問

③ 特記事項

- ・コロナ禍の卒業生就職園へ訪問方法やオンライン相談等を検討

④ 学校関係者評価委員会コメント

<橋本委員>

- ・実習生巡回時に卒業生の状況を伝達している。実習の際に教員が訪問して話をしている姿を見ると、卒業生も安心しているように見受けられる。離職防止としても、引き続き実施してほしい。

<榎本委員>

- ・産業カウンセラーを導入している。カウンセラーに直接メールで予約を取る仕組みなので周囲に知られることなくカウンセリングが受けられ退職防止となっている。卒業生も自分の所属のコミュニティでは相談しづらいこともあると思うので、卒業生向けにオンライン等で学校との相談の時間を設けるのはどうか。

<高田委員>

- ・知っている先生が実習訪問してくれると安心できる。卒業後もアプリ等を使って学校に相談ができる仕組みがあるとよい。私の場合は相談できる先生がたくさんいるため安心できる。在学中に先生とどれだけかかわるかによって少し差が出てくるように感じる。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	4
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

・コロナ禍での野外活動の実施方法

② 今後の改善方策

・コロナ禍の中での活動に対して対策等を学ぶ上でも今年度目的を説明したうえで実施機会を増やしていく。

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

<榎本委員>

・産学連携のイベントでは、計画→実践→修正して学生が成長するサイクルが出来ている。回数を重ねることで、学生にプロ意識が芽生え、気配りや発言が変化していった。この仕組みを後輩にも引き継いでほしい。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

- ・楽しいだけでなく、就職後を見据えた実習
- ・学外実習・インターンシップの目標の設定
- ・設備の充実

② 今後の改善方策

- ・実習先と事前の学生状況の共有(実習での目標・現在の課題等)
- ・設備の充実

③ 特記事項

- ・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

<橋本委員>

- ・実習の目的、実習での目標が明確な学生が多いと感じる。特に保育所保育指針を学校でよく学んできてほしい。実習巡回の際に教員と話すことで、学生の状況がわかることがあるので、事前に実習の狙いやその学生の特性(学校で頑張っていること等)を知れるとよい。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・福岡県専修学校各種学校協会の規定に従い、適正に実施している。

② 今後の改善方策

・特になし

③ 特記事項

・法人内の入学相談室と連携し、高校への説明会・オープンキャンパスなどの機会を通じて魅力を正確に伝えられるように計画的に活動を展開している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

・特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

- ・さらなる法令順守の推進
- ・オンラインに伴う著作物利用についての理解不足

② 今後の改善方策

- ・著作物利用等ガイドラインを制定

③ 特記事項

- ・2014年自己評価結果より公開を開始

④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・特になし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・コロナ禍でのボランティア活動の実施方法

② 今後の改善方策

・コロナ禍の中での活動に対して対策等を学ぶ上でも今年度目的を説明したうえで実施機会を増やしていく。

③ 特記事項

・産学連携の一環として JR 博多シティ様と連携して、継続的なボランティアを行っている。

・地域連携の一環としてこどもへの遊びの提供、保護者の育児支援を行っている。

④ 学校関係者評価委員会コメント

<榎本委員>

・産学連携のイベントでは、計画→実践→修正して学生が成長するサイクルが出来ている。回数を重ねることで、学生にプロ意識が芽生え、気配りや発言が変化していった。この仕組みを後輩にも引き継いでほしい。

(11)国際交流

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

・留学生の就職先の確保

② 今後の改善方策

・保育士だけでなくALT等様々な肩書での就職先の確保

③ 特記事項

・特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<橋本委員>

・「技能と心の調和」に沿ってしっかりと学生指導をさせている印象がある。実習生もプロ意識が見られる学生が多い。実習の巡回時に学生と卒業生が先生と話をしている姿を見ると、とても安心しているように見受けられる。学校からのフォローは卒業生の退職防止にもつながる為、引き続き園の巡回を実施してほしい。また実習生については事前の情報共有を実施していただくことで、お互いによりよい実習になると思う。

<榎本委員>

・産学連携のイベントでは、年間を通じて学生の成長を感じる。引き続き一緒にイベントを運営していきたい。

<高田委員>

・在学中に学んだ「技能と心の調和」が就職してとても役に立っている。卒業後も遠方等で学校にいけない卒業生もためにオンラインでの相談会等設けてもらえると嬉しい。

<本田副校長>

・常に保育現場が求める人材像を意識しながら、今回いただいた意見をしっかりと生かし、これからも学生指導を行っていきたい。また、日々現場も変化する中で最新の情報を常に頂けるよう努力すること、このように業界の方と情報交換をしていくことの大切さを改めて感じた。実習中の巡回だけでなく、卒業生の就職園などにも巡回をしていきたい。2025年より園児の数も減っていくと予想される。本校の学生がより現場に必要とされる人材になれるよう努力していくので引き続きご協力をいただきたい。

以上